

平成 27 年 8 月 13 日

渡邊恒雄様

巨人軍の1ファン 菅谷信雄

最近の巨人軍の選手採用方針はファンの気持ちが理解できていないようです

拝啓

私は、長嶋終身名誉監督が巨人軍入団以来の巨人ファンです。

しかし、最近の巨人軍の選手採用方針を見ていると、ファンの気持ちを理解できていないようです。

確かにファンは巨人の優勝を望んでいます。しかし、それよりもっと大切なことがあります。

それはファンに感動を与える選手の採用と起用です。

ここ数年外国人選手を途中入団させ、いずれも失敗しています。シーズン途中で獲得した選手が活躍することは極めてまれであることは素人でも分かります。

外国人選手が起用されると有望な若手の活躍の場が制限されます。

ファンは、外国人選手の活躍より、太田、中井、松本、橋本、藤村他生え抜きの若手選手の活躍を望んでいます。

今年も4番打者不在、貧打で苦しんでいます。ストーブリーグで、外国人選手や他球団から4番打者を獲得できなかったから、シーズン当初太田を4番打者にすると宣言しました。

ファンは太田の4番打者を期待していました。例えば、4番太田、5番中井なら21世紀型新 ON としてファンの期待も高まります。たとえ打てなくても、巨人戦中継に釘付けとなります。

一方他球団から準レギュラークラスの選手を獲得しています。確かに立岡が大活躍し、それなりに評価はしています。しかし、とりすぎです。これでは巨人軍のアイデンティティがなくなってしまう。

極めつきは、シーズン途中で人気の矢野を放出してしまったことです。そして準レギュラークラスを獲得しましたが、結局うまくいっていません。この愚挙にファンは失望しました。

ファンが望んでいることは、生え抜きの選手の活躍です。生え抜きだけでは戦力不足の場合、初めて外人選手、他球団からスカウトしてくる。これが理想型です。

今の選手起用方針では、試合が面白くなく、巨人戦を見る気がしなくなります。これは他の巨人ファンも同様の感想です。巨人戦の視聴率の低迷がそこにあることをご理解ください。

たとえ優勝できなくても、生え抜きの若手選手中心の選手起用方針の采配ならファンは復活してくると思います。

敬具